

葉色急落！栄養不足の懸念！ 穂肥は適切に施用しましょう！

生育過剰傾向（茎数・葉色はほ場間差大）です。一方で葉色が急落しており、猛暑に備えて適切な後期栄養管理が必要です。

コシヒカリの出穂期は「平年より5日程度（3～7日）早い」予想です。

1 7月11日現在のコシヒカリ生育状況（拠点9地点平均、移植日平均5月6日）

草丈（長） 茎数（多） 葉数（やや早い） 葉色（淡）←前回から急落傾向

		本 年 値	目 標 値 (栽培カレンダー・生育目標比・差)	前 年 値 (前年値比・差)
草 丈 (cm)		75	63 (119%)	61 (122%)
茎 数 (本/m ²)		537	480 (112%)	574 (94%)
葉 数 (葉)		11.6	11.0 (+0.6)	11.4 (+0.3)
葉 色	SPAD	33.6	36.0 (-2.4)	35.3 (-1.7)
	葉色板	3.5	3.9 (-0.4)	3.6 (-0.1)

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 分施の穂肥（1回目：出穂期20日前、2回目：出穂期10日前）

ア 出穂が早まる見込みのため、穂肥が遅れないよう注意する。

イ 生育が次の値を超える場合、1回目穂肥を控えめとする。

草丈（75cm）、葉色（葉色板3.8、SPAD値 36）

ウ 2回目の穂肥は「必ず施用」する（1回目ができない場合でも）。

※ 有機 100%肥料の場合は少し早めに施用する。

(2) 一発基肥の追肥（出穂期12～10日前）

ア 生育が次のような場合、追肥を施用する

葉色が著しく低下している場合（葉色板 3.3 以下、SPAD値 30 以下）

※ 詳しくは、佐渡米カレンダー（7月）を参照。

減減栽培では化学窒素分量の超過に注意。

3 その他の管理ポイント

(1) 高温年は斑点米の多発が懸念されるので、一斉草刈り期間中（7/15～27）に必ず草刈りを実施する。

少雨のため農業用水は厳しくなっています。地域全体で効果的に使用してください。